

構想を具体化する「学習指導案」の作成

授業づくりのポイントを基に構想した授業について、教員の意図を理論的に示したものが学習指導案です。学習指導案は、授業づくりの過程で具体的に語り合うためのツールとして、また、実践後の授業反省会で議論の根拠としても使用します。

特別支援学校の学習指導案に決まった書式はありませんが、必要と思われる内容や項目には共通のものが見られます。ここでは、特別支援学校の学習指導案において、大切にしたい視点を挙げます。

☞ あすなるホームページ「授業づくりシートⅠ」参照

特別支援学校の学習指導案の例

○学部第○学年○○○○学習指導案

1 単元（題材）名

○ 単元と題材の違い

単元：複数の題材を計画的、系統的に組織した一つのまとまり

題材：単元を構成する一要素で、学習活動の最小のまとまり

【単元（題材）名の例】

「かるたとりをしてあそぼう」（遊びの指導）

「みんなでかるたとり大会をしよう」（生活単元学習）

「お客さんに喜ばれる○○をつくろう」（作業学習）

2 単元（題材）目標

☞ P 3 「2 評価しやすい目標設定の仕方」参照

3 児童（生徒）の実態

集団（全体）の実態と、「個別の指導計画」の実態を踏まえた、個々の実態を記述します。

- 人数、障害の状態、発達の様子、特性、単元に対する興味・関心、学習経験 など

このような実態だから

4 単元（題材）設定の理由

授業の意図を示す大切な項目です。実態を受け、単元（題材）観、指導観の観点で記述します。

◎ 単元（題材）観

- 単元（題材）の価値や特徴、単元（題材）に対する考え方、ねらいなど（学習指導要領の内容との関連も）
- 学習・生活経験、興味・関心、発達段階、生活年齢等に対応し、適切であると考えられる理由

この単元（題材）を設定した

◎ 指導観

- 支援の方法、手立てや環境設定等、有効な指導の在り方を考え、指導方法や学習活動などを明らかにする

指導に当たってはこのようなしたい

5 指導計画

単元の進行計画です。学習内容や時間配当を明らかにします。教科指導では評価規準も明確にすることが大切です。全体の中での本時の位置を示しましょう。

指導計画（全13時間）

【指導計画の例（理科）】

次	時	○目標 ・ 学習活動	評価規準、評価方法
水に溶けたものの行方	2	○溶けたものの行方を予想し、実験方法を考えることができる。 ・見えなくなった食塩が水の中にあるかを調べる実験方法を考える。 本時 2 / 13	思考・表現 水に溶けたものの行方を、水溶液の重さや溶ける量など、溶かすものによる違いに着目して予想し、適切な実験方法を考えている。（発言、記録分析）
	3	○電子てんびんの使い方が分かる。 ・電子てんびんの使い方を覚える。	技能 電子てんびんの使い方がわかり、正しく操作できる。（行動観察）
	4	○ものは水に溶けてもなくなることや、重さは変わらないことが分かる。 ・見えなくなった食塩は水の中にあるかを調べる実験をする。	知識・理解 ものが水に溶けると水全体に広がって透過すること、水とものを合わせた重さは溶かす前後で変わらないことを理解している。（行動観察、記録分析）

単元では、計画→準備→実践→反省という順序性があります。

児童生徒の活動意欲が高まり、活動がイメージしやすい単元名を考えましょう。

教科指導では、「評価規準」の項を立てる場合もあります。

児童生徒の実態から出発することが、特別支援学校の特色です。

児童生徒のよさを認める表現にします。

「単元（題材）設定の理由」の中で、校内研修とのつながりを書くこともあります。

見通しを持って学習に取り組める計画になっているかどうかもポイントです。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

本時の指導を通して育てたい児童生徒の姿を具体的に書きます。ポイントは、

- 単元目標との整合性はとれているか。 [P3「2 評価しやすい目標設定の仕方」参照](#)
- 評価が可能な具体的な目標になっているか。

(2) 授業構想

1時間の授業を、どのように組み立てたいかについて記述します。

- 本時の目標を達成するための具体的な手立てや指導上の留意事項
- 児童生徒の主体的な学習活動が促されるように工夫する点 など

(3) 展開

授業の流れに沿って、児童生徒の学習活動や時間配分、目標達成のための手立てや支援、学習評価の観点などを記述します。授業の特性や指導案作成の目的などに応じ、展開に盛り込む内容や形式を選択しましょう。

【手立て・支援として記入される例】

教員の働きかけ、教材・教具、教員の役割（TT）、指導体制、環境設定 など

【展開例1：個別の手立て・支援を明確にしたもの】

時間	学習活動	支援と指導上の留意点		
		★手立て・支援	◎評価	※留意点
	○ ……………	A男	B子	C男
	○ ……………	目標や学習課題		
		★ ……………	★ ……………	★ ……………
		※ ……………		※ ……………
		◎ ……………		◎ ……………

【展開例2：教員の働きかけを明確にしたもの（教科指導に多い）】

学習活動・ 教員の働きかけ	予想される 児童生徒の表れ	支援と指導上の留意点		
		★手立て・支援	◎評価	※留意点
○ …………… 発問	・ …………… ・ ……………	★ …………… (A男) ※ ……………		
○ …………… 主発問	・ …………… (A男) ・ …………… (B子) ・ …………… (C男)	★ …………… (A男) ★ …………… (B子) ★ …………… (C男) ◎ ……………		

【学習評価の観点例】

- ・ 教員の発問に対し、正しい絵カードを選んで教員に渡すことができたか。
- ・ 実験結果から、ものが水に溶けるときの規則性が分かり、ノートに書くことができたか。

(4) 授業評価の観点

教員が、授業を振り返り、改善につなげるための観点を記述します。

【授業評価の観点例】

- ・ 生徒が〇〇できるための教員の働きかけは適切だったか。
- ・ 児童が〇〇できるようにするための教材・教具は適切だったか。

(5) 配置図 / 板書計画 / 資料 / 準備物 など（必要に応じて）

配置図：児童生徒や教員の位置、机や教材・教具の配置などを示します。
 板書計画：本時で学んだことが児童生徒に一目で分かるよう工夫します。
 資料：使用する教材・教具などの資料を添付する場合があります。

単元目標の全てを本時でねらう必要はありません。

授業後の姿をイメージできるようにします。

単なる展開の説明にならないようにしましょう。

展開例1、2共通

集団全体の流れと、個への配慮が分かるように、展開の書き方を工夫しましょう。

本時の中心的活动が分かるようにしましょう。

個々の課題と手立てを具体的にすることが大切です。

児童生徒が主体的に取り組むための手立てを明確にしましょう。

児童生徒一人一人の学習評価は、本時の目標に照らし、具体的な姿に基づいた評価規準と評価方法が明確となるような記述にしましょう。

教員の自己課題や、校内研修と関連づけた観点を挙げます。